



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東
 コード番号 7030 URL https://sprix.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 長 (氏名) 設楽 征史 TEL 03(6912)7058
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	16,846	99.6	1,392	10.9	1,393	11.1	788	△12.1
2020年9月期第3四半期	8,438	—	1,255	—	1,254	—	896	—

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 772百万円 (△13.3%) 2020年9月期第3四半期 891百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	45.84	44.54
2020年9月期第3四半期	52.30	50.36

(注) 2020年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	19,087	8,181	42.8
2020年9月期	11,485	8,091	70.2

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 8,164百万円 2020年9月期 8,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2021年9月期	—	15.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,983	111.0	1,477	△17.3	1,476	△17.4	859	△25.3	49.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社湘南ゼミナール、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	17,467,350株	2020年9月期	17,313,450株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	345,245株	2020年9月期	170,245株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	17,200,067株	2020年9月期3Q	17,146,078株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなか、ワクチン接種などの各種感染拡大防止策の影響を注視する必要がある状況が続いています。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化・採用難・地域格差等が続くなかで、様々な対応策を講じることが必要になってきております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性がなお一層高まっております。

このような状況のもと、当社グループでは第1四半期連結会計期間より、株式会社湘南ゼミナールがグループに加わり、学習塾サービスにおいては、個別指導の「森塾」、「自立学習RED」、前期よりサービスを開始した「そら塾」に加え、株式会社湘南ゼミナールの運営する「森塾」、集団指導の「湘南ゼミナール」、大学受験指導の「河合塾マナビス」も合わせ、これまで以上に充実したサービスを展開しております。

中核事業である「森塾」（個別指導塾）におきましては、当第3四半期連結会計期間末において175教室（前年同期比18教室増）展開しておりますが、その内訳は、株式会社スプリックス運営が130教室（前年同期比15教室増）、株式会社湘南ゼミナール運営が45教室（前年同期比3教室増）であります。

新型コロナウイルス感染症の影響のもと、生徒・保護者様及び従業員の安心安全を最優先としつつ、高水準の学習指導及び、研究開発を継続した結果、各学習塾サービスの生徒数は前年同期比のみならず、新型コロナウイルス感染症の影響の無かった2019年度と比較しても好調に推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は38,625人と新たに当社グループに加わった株式会社湘南ゼミナールの運営する「森塾」と合わせ、前年同期比11,943人増となりました。その内訳は、株式会社スプリックス運営が29,883人（前年同期比3,201人増）、株式会社湘南ゼミナール運営が8,742人です。

「湘南ゼミナール」は、小中学生をメインターゲットとした集団指導形式の学習塾であり、当第3四半期連結会計期間末において178教室（前年同期比1教室増）を展開しております。

「河合塾マナビス」は、講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾であり、当第3四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして47教室（前年同期比変動なし）を展開しております。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第3四半期連結会計期間末において直営5教室（前年同期比変動なし）、FC152教室（前年同期比37教室増）を展開しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における主な学習塾ブランドごとの売上高、事業利益、教室数及び生徒数は、以下のとおりであります。

	森塾			湘南ゼミナール (注1)	河合塾マナビス (注1)
		スプリックス 運営	湘南ゼミナール 運営(注1)		
売上高(注2)	9,467百万円	8,001百万円	1,466百万円	4,431百万円	1,296百万円
事業利益(注2、3)	2,159百万円	2,013百万円	146百万円	897百万円	40百万円
期末教室数	175教室	130教室	45教室	178教室	47教室
期末生徒数	38,625人	29,883人	8,742人	19,293人	4,530人

注1) 株式会社湘南ゼミナールが運営する「森塾」、「湘南ゼミナール」、「河合塾マナビス」の売上高、及び事業利益は、2020年12月1日～2021年5月31日の6カ月分を、当第3四半期連結累計期間に計上しております。

注2) 売上高、及び事業利益は、各事業部間取引の相殺前の数値であります。

注3) 事業利益は、管理部門等の共通費用配賦前の事業部門における営業利益であります。

また、教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレストシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集Webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも好調だったことに加え、株式会社サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。さらにAIタブレットで基礎学力を養成する「フォレスト学習道場」や、スプリックス基礎学力研究所による国際基礎学力検定「TOFAS」の提供を開始するなど、学習塾サービスとの相乗効果を最大限に発揮できる取組みも積極的に進めております。

一方、組織力強化のための人員増及び新教室の設備関連投資などを当初の想定通り進めたこと、及び広告宣伝、研究開発活動を積極的に行ったことなどにより、売上原価、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,846,703千円（前年同期比99.6%増）、営業利益は1,392,859千円（前年同期比10.9%増）、経常利益は1,393,728千円（前年同期比11.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は788,485千円（前年同期比12.1%減）、EBITDA（＝営業利益+のれん償却+減価償却費）は1,972,044千円（前年同期比43.9%増）となりました。

なお、当社グループの業績は、中核事業である「森塾」「湘南ゼミナール」「河合塾マナビス」などの学習塾サービスにおいて、夏期（7月・8月）、冬期（12月・1月）、春期（3月・4月）の講習実施時期に、他の月と比較して売上高が増加する傾向にあります。

教育関連サービスのテキスト販売においては、新学期開始前の3月前後に売上高が集中する傾向にあります。

当社グループは教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しておりますが、主な学習塾ブランドごとの売上高及び事業利益は、上述の通りとなります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は19,087,707千円（前連結会計年度末比7,601,908千円増）となりました。主な増減要因は、子会社買収に伴うのれんなど無形固定資産が4,717,661千円増加し、子会社運営の塾に関わる建物など有形固定資産が1,956,953千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は10,906,477千円（前連結会計年度末比7,512,141千円増）となりました。主な増減要因は、子会社の増加に伴い、短期借入金や前受金など流動負債が5,389,518千円増加し、長期借入金や子会社運営の塾に関わる資産除去債務など固定負債が2,122,622千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,181,230千円（前連結会計年度末比89,767千円増）となりました。主な増減要因は、配当金の支払いによる減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加、自己株式取得による減少により86,106千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の通期連結業績予想につきましては、2021年5月10日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,308,111	6,863,601
売掛金	175,344	256,755
商品及び製品	145,170	349,338
仕掛品	53,872	16,134
貯蔵品	6,442	15,012
未収入金	1,594,474	1,104,810
その他	153,312	690,521
貸倒引当金	△8,290	△42,984
流動資産合計	9,428,437	9,253,190
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,086,763	2,706,232
その他(純額)	86,575	424,058
有形固定資産合計	1,173,338	3,130,291
無形固定資産		
のれん	66,330	2,977,730
その他	29,326	1,835,587
無形固定資産合計	95,656	4,813,318
投資その他の資産		
その他	788,402	1,890,943
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	788,366	1,890,907
固定資産合計	2,057,361	9,834,517
資産合計	11,485,798	19,087,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,035	87,841
短期借入金	-	1,262,730
未払金	778,548	2,230,718
未払法人税等	247,968	565,771
前受金	1,336,243	3,018,538
賞与引当金	11,700	308,688
成績保証引当金	6,724	11,934
返品調整引当金	15,832	15,655
その他	402,349	763,040
流動負債合計	2,875,401	8,264,920
固定負債		
長期借入金	-	1,636,360
役員退職慰労引当金	68,555	69,233
退職給付に係る負債	100,156	108,269
資産除去債務	350,222	827,693
固定負債合計	518,934	2,641,557
負債合計	3,394,335	10,906,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,422,963	1,430,253
資本剰余金	1,412,963	1,420,253
利益剰余金	5,442,512	5,698,921
自己株式	△214,870	△385,172
株主資本合計	8,063,569	8,164,255
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	114	28
その他の包括利益累計額合計	114	28
新株予約権	-	4,736
非支配株主持分	27,778	12,209
純資産合計	8,091,462	8,181,230
負債純資産合計	11,485,798	19,087,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	8,438,796	16,846,703
売上原価	5,219,941	11,267,495
売上総利益	3,218,855	5,579,207
販売費及び一般管理費	1,963,276	4,186,348
営業利益	1,255,578	1,392,859
営業外収益		
業務受託料	246	5,675
助成金収入	450	4,238
その他	1,503	3,353
営業外収益合計	2,199	13,267
営業外費用		
支払利息	-	7,208
支払手数料	2,752	4,693
その他	228	496
営業外費用合計	2,981	12,398
経常利益	1,254,797	1,393,728
特別利益		
投資有価証券売却益	-	35,999
資産除去債務戻入益	19,428	-
受取補償金	71,105	-
特別利益合計	90,533	35,999
特別損失		
減損損失	-	70,937
抱合せ株式消滅差損	1,041	-
その他	-	0
特別損失合計	1,041	70,937
税金等調整前四半期純利益	1,344,288	1,358,791
法人税、住民税及び事業税	491,078	676,774
法人税等調整額	△36,380	△90,900
法人税等合計	454,697	585,874
四半期純利益	889,590	772,916
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,150	△15,569
親会社株主に帰属する四半期純利益	896,740	788,485

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	889,590	772,916
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	2,031	△86
その他の包括利益合計	2,031	△86
四半期包括利益	891,622	772,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	898,772	788,399
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,150	△15,569

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、株式会社湘南ゼミナールの発行済株式を全て取得し、同社及びその完全子会社である株式会社湘南ゼミナールオーシャンを連結の範囲に含めております。なお、株式会社湘南ゼミナールは当社の特定子会社に該当しております。

（セグメント情報等）

当社グループは、教育サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。